

令和5年度 北海道デジタルチャレンジ推進事業

新しい介護の働き方を実現する 介護特化型マッチングアプリの活用による 介護人材不足の地域課題解決の実証事業

【全体版】

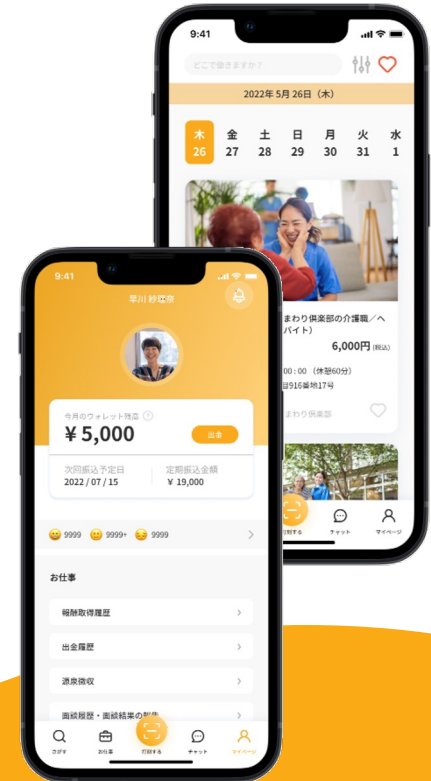
「介護マッチングアプリ実証事業推進」コンソーシアム



札幌市



株式会社さくらコミュニティサービス



目次

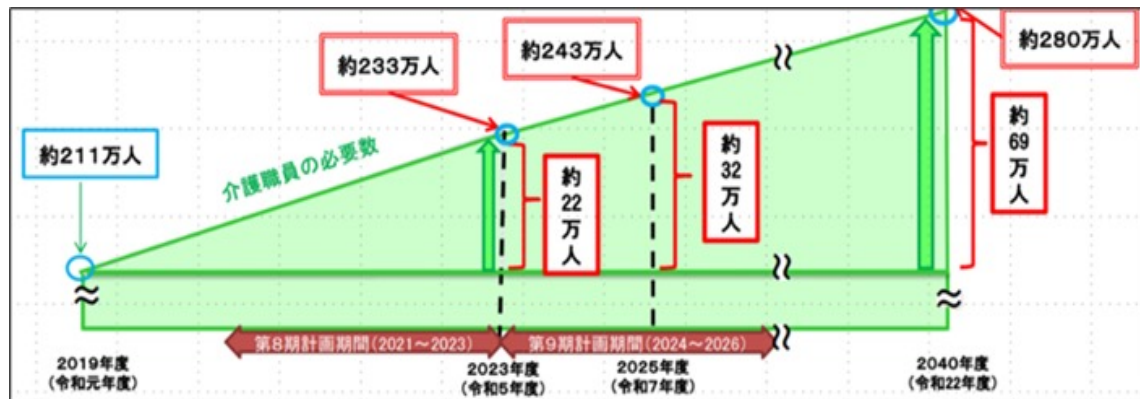
ページ

1. 事業の背景・課題	…	3
2. 事業概要		
2-1. 事業の骨格	…	4
2-2. ビジネスモデル	…	5
3. 実証内容		
3-1. 実施体制	…	6
3-2. 実施スケジュール	…	7
3-3. ニーズ調査	…	8
3-4. 参画自治体との連絡会議	…	10
3-5. 介護特化型マッチングアプリ開発	…	11
3-6. 介護ポータルサイト開発	…	13
3-7. 広報・プロモーション	…	15
4. 実証結果		
4-1. 目標の達成度	…	17
4-2. 登録ワーカーの分析	…	18
5. 実証事業の評価と今後の課題	…	20

1. 事業の背景・課題

①「2040年問題、介護人材不足69万人」の衝撃

- 厚生労働省「第8期介護保険事業計画」による介護人材必要数は下図とおりであり、2025年以降の総人口の減少とともに極端な介護人材不足に陥ると予測されており、国内介護事業の衰退が危惧されている。



②北海道の状況

- 北海道の高齢化率は、2015年（平成27年）は29.1%（全国20位）で、今後は全国平均を上回る伸びで増加し、2023年（令和5年）には32.9%、さらに2025年（令和7年）には33.5%に達する見込みである。
- 北海道は、地域的な特性として、北海道人口の2/3が札幌市を中心とした道央エリアに集中しており、厳しい寒冷地において広大な地域の中に市町村が点在・過疎化し、移動距離も長いなどのハンディをかかえていることが、地域の各自治体における介護人材不足の問題の深刻さに拍車をかけている。

③介護人材不足のリアルな実態

- 介護資格を持ちながら、現在介護業界で働いていない「潜在介護士」が全国で約37万人もいるという実態がある。
- 介護事業者では、人が集まらない、採用費用が高い、人材が定着しないというミスマッチが発生し、経営難や廃業に陥るケースが増加している。

1.働く人（ワーカー）の課題	<div>▲A 復職したくてもハードルが高い</div> <div>子どもが出来て退職をしたが、不規則なシフトには戻れない。</div> <div>▲B 長時間勤務・不規則なシフトが多い</div> <div>自由になる時間が取れないため、旅行にも行けない。</div> <div>▲C 業務量の割に賃金が安い</div> <div>やるべきことが膨大で、割に合わないと感じる。</div> <div>▲D 人間関係のトラブルが多い</div> <div>トラブルは多い。それが理由で辞めた同僚も多い。</div>
*潜在介護士120名への定量調査	<div>介護資格を持ちながらも、現在介護業界で働いていない「潜在介護士」は約37万人</div> <div><div>いいえ 30%</div><div>はい 70%</div><div>条件が合えば介護職に復帰したいと考えていますか？</div></div> <div><div>いいえ 25%</div><div>はい 75%</div><div>1日単位や隙間時間など、アルバイト感覚で介護の職場で働くことができたら、興味はありますか？</div></div> <div><ul style="list-style-type: none">● 潜在介護士のうち 70%が、「条件が合えば復職したい」と回答● 75%が、スキマ時間やアルバイトでの介護就業意欲を持つ</div>
2.介護事業所の課題	<div>▲E 人材が集まらない</div> <div>常にある課題。急な退職や時期が重なりと更に厳しい。</div> <div>▲F 採用費用が高い</div> <div>支出の大きな割合を占める。（人材派遣/紹介費用が採用費を圧迫）</div> <div>▲G 人材が定着しない</div> <div>面接時と実際にギャップも多い。高額なコストをかけて採用した結果、辞められてしまうことも。</div>

課題： 介護人材不足の解消

- 介護業界における働き方改革
- 潜在介護士、他業界、無資格人材の活用
- 多様な働き方の導入とミスマッチの解消

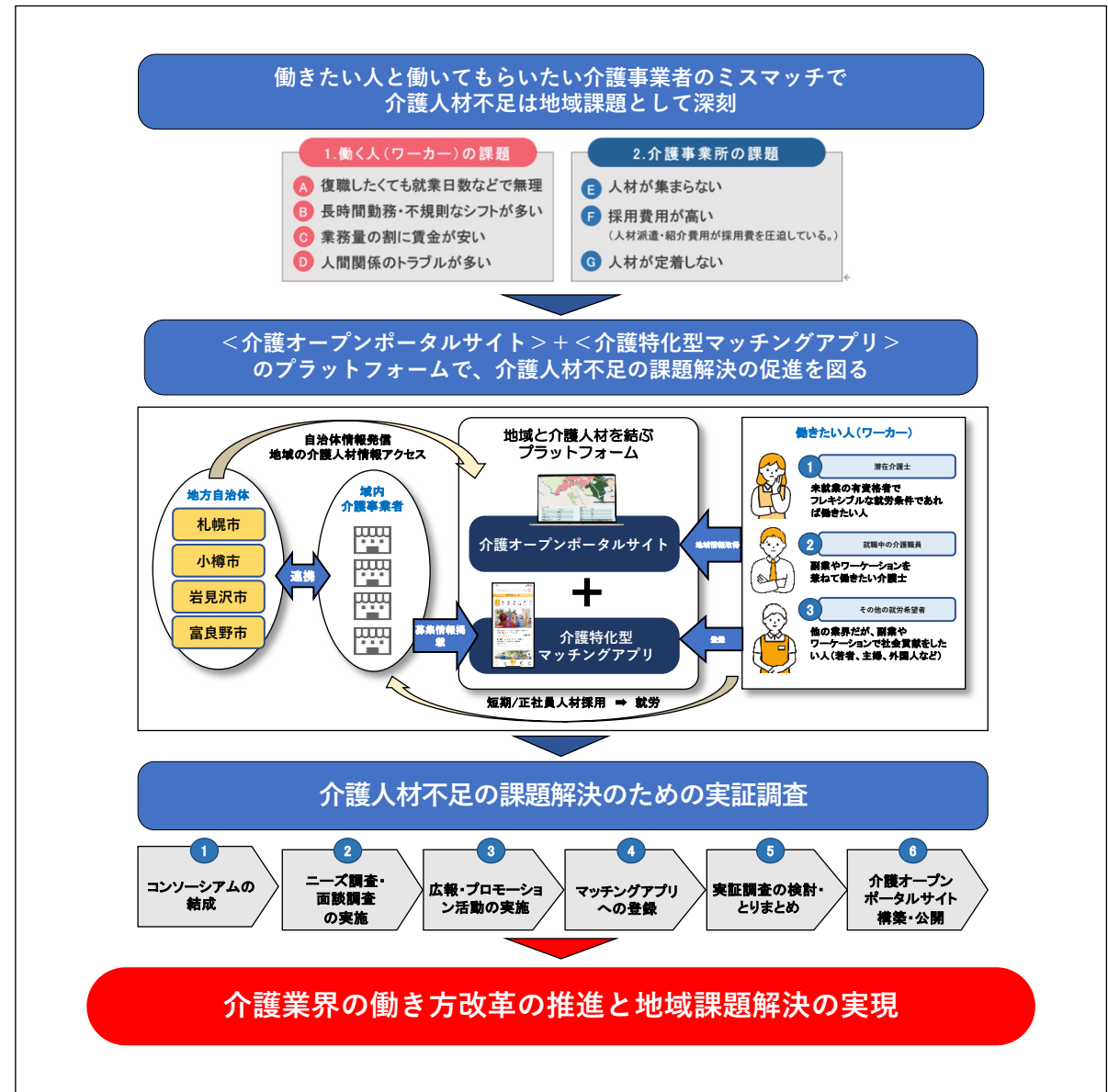
2. 事業概要 2-1. 事業の骨格

介護人材を結ぶプラットフォームの構築

- 札幌市（代表）、小樽市、岩見沢市、富良野市を実証地域として、課題である＜介護人材不足の解消の解消に貢献する＞2つのプラットフォームを構築する。

- ①＜介護特化型マッチングアプリ＞
- ②＜介護オープンポータルサイト＞

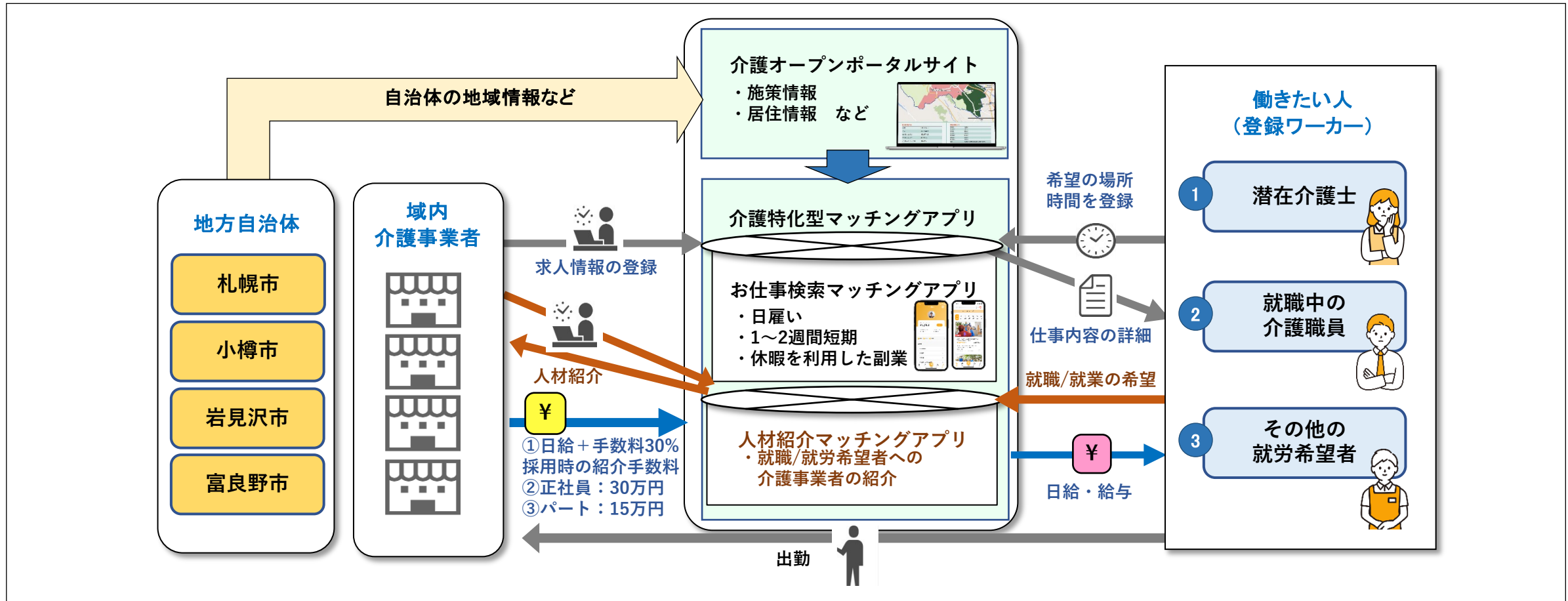
参画者	参画者のメリット
地方自治体 札幌市（代表）、 小樽市、岩見沢市、 富良野市	＜介護オープンポータルサイト＞の利用により ① 地域の福祉施策や移住・ワーケーション情報を掲載できる。 ② 介護人材の調査情報の閲覧により、地域内の介護人材状況の実態の把握や地域課題の分析が行える。
介護事業者	＜介護特化型マッチングアプリ＞の活用により、 ① 介護人材の募集・採用を1日単位で、低料金で行える。 ② 潜在介護士や資格を保有しないスキマ時間活用希望者など、幅広い人材にアプローチできる。 ③ 採用した人材の介護技能レベルの記録と履歴閲覧により、採用候補者の技能レベルを予め把握できる。
働きたい人（ワーカー）	＜介護特化型マッチングアプリ＞への登録で、 ① 潜在介護士の復職や、就業中の介護士の転職がスムーズに行える。 ② スキマ時間を活用したい主婦、高齢者、学生アルバイト、外国人労働者、ワーケーションしたい人など、幅広い層・多様な人材が就労機会を得られる。



2. 事業概要 2-2. ビジネスモデル

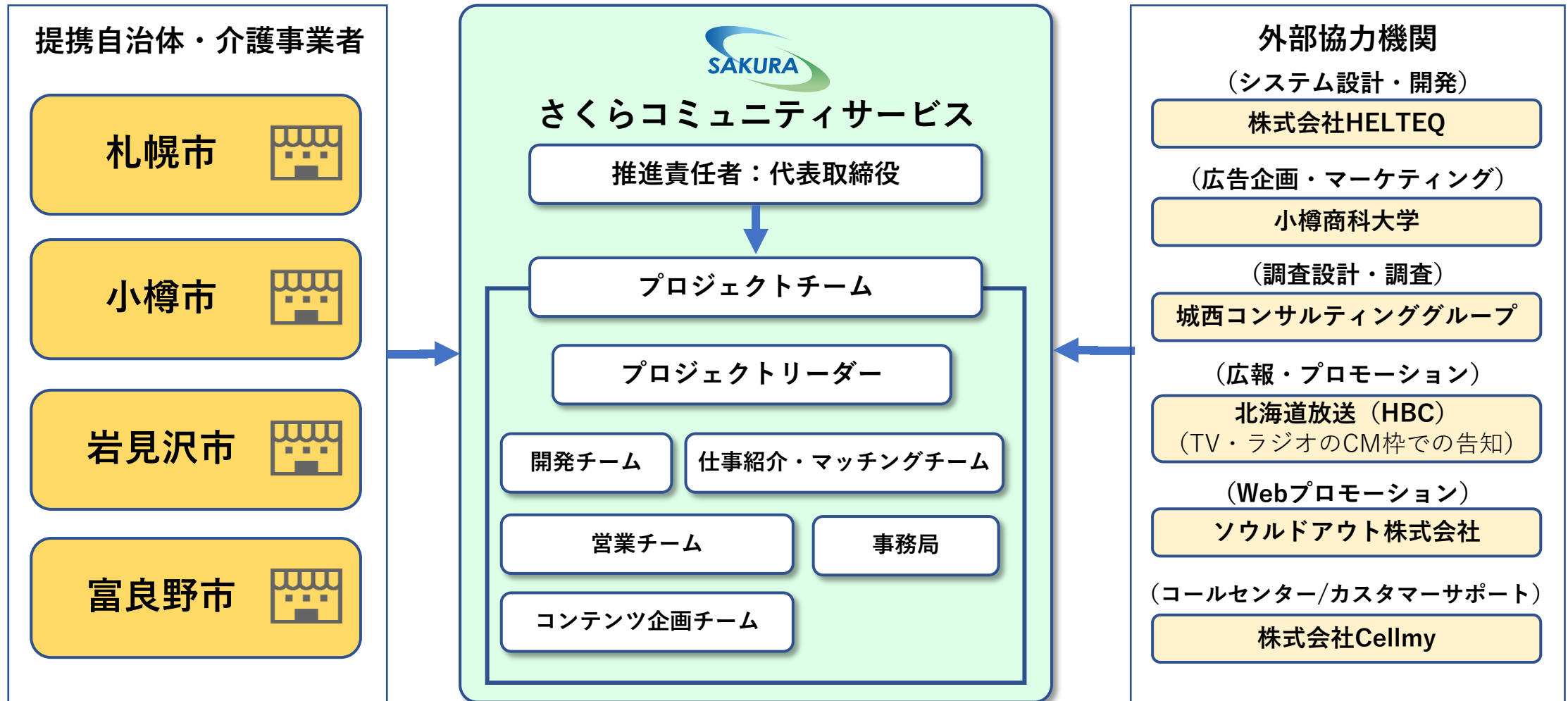
- 介護事業者と雇用希望者のマッチングが成立した場合に、3つの料金体系で課金し、ビジネスとしての継続性・発展性を確保する計画である。
- 補助期間中は、介護事業者のサービス利用料は無料で実施した。

①単発お仕事紹介料	②採用時の紹介手数料	③有料会員費
日給の30%	正社員：30万円／件 パート：15万円／件	月額3~7万円



3. 実証内容 3-1. 実施体制

- コンソーシアム代表団体の株式会社さくらコミュニティサービスを中心に、札幌市、小樽市、岩見沢市、富良野市の各自治体と提携しつつ、システム開発会社、大学、コンサルティング会社、メディア（北海道放送）、広告・PR会社、コールセンターなどとコンソーシアムを組み、事業を推進した。



3. 実証内容 3-2. 実施スケジュール

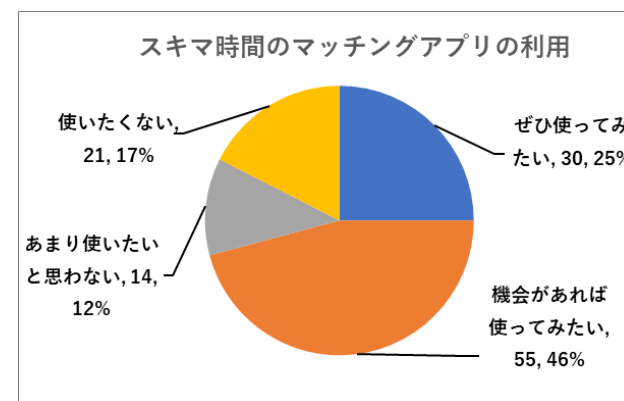
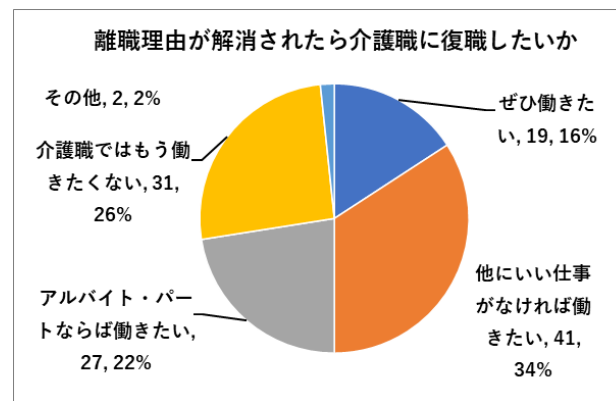
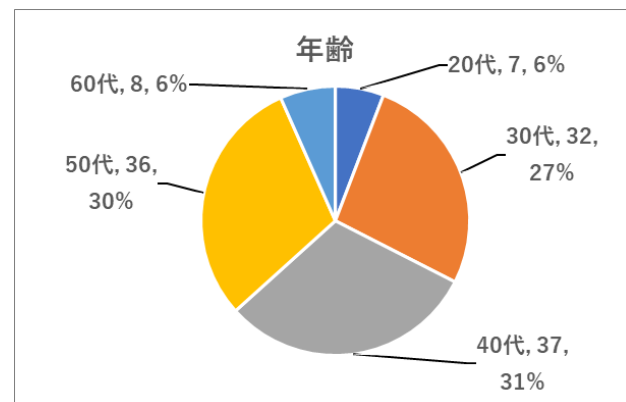
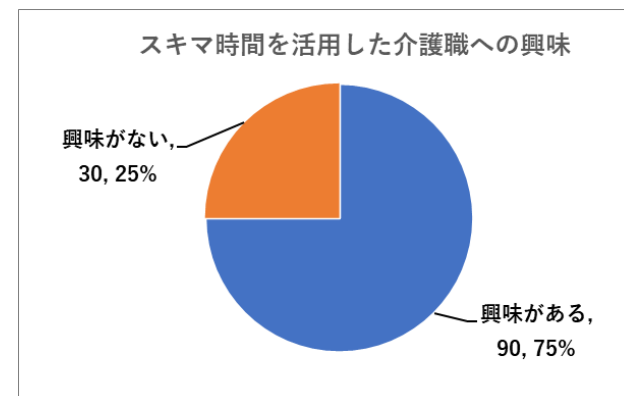
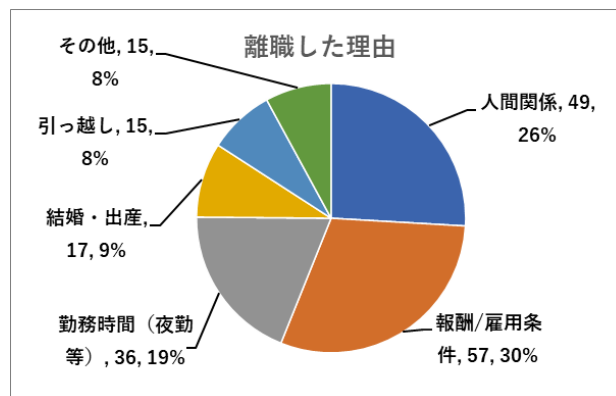
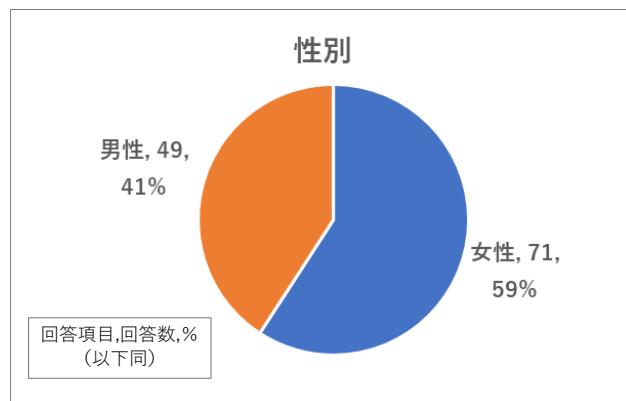
- 事業終了期間の2024年3月15日まで、下記の日程で事業を遂行した。

	2023年		2024年		
	11月	12月	1月	2月	3月
1.実態把握に関する調査					
1-1 事前調査	→				
1-2 ユーザー（ワーカー）インタビュー	11/28●				
1-3 介護事業者インタビュー	11/20●				
2.介護マッチングアプリ開発					
2-1 システム改修	→				
2-2 バグチェック			→ ●1/22	リリース	
2-3 ランディングページ開発			→ ●1/22	公開	
3.介護ポータルサイト開発					
3-1 要件定義	→				
3-2 ベータ版開発		→			
3-3 コンテンツ編集				→	●3/15リリース
4.広報・プロモーション（集客）					
4-1 TV・ラジオコマーシャル			→		
4-2 ネット広告	→				→
4-3 介護研修修了生への登録促進（メールなど）			→		
4-4 介護事業者への営業（コールセンター）			→		→
4-5 業界ネットワークを活用した周知			→		→

3. 実証内容 3-3. ニーズ調査① 事前調査

①事前調査

- 代表団体は、事業採択前の2023年1月～2月にかけて、全国の20代～60代の＜過去に介護業務に従事していたが現在は従事していない介護関連の有資格者（潜在介護士）120名へのアンケートやインタビューを行い、介護特化型マッチングサービスに対する潜在的ニーズ調査を実施した。
- 調査では、72%が「離職理由が解消されたら介護職に復職しもよい」と回答し、75%は「スキマ時間を活用したい」と答えた。更に71%が「スキマ時間を活用したマッチングアプリ」に対する利用希望を回答し、本実証事業に対するニーズが確実にあるとの結果を得た。



3. 実証内容 3-3. ニーズ調査② インタビュー調査

②-2 働きたい人（ワーカー）と介護事業者へのインタビュー調査



- 本事業では、介護に関する資格を有していながら現在は介護業界で働いていない人（潜在介護士）3名と、介護事業者2社に対しオンラインインタビューを実施し、離職の理由やスキマ時間の活用や＜介護特化型マッチングアプリ＞への登録・利用希望について追加調査した。

ワーカー (11月28日実施)	介護の仕事を止めた理由	＜介護特化型マッチングアプリ＞について	要望・意見など
Nさん (女性・45歳) 実務者研修修了者	金銭的な理由と体力的な問題で退職し、現在は自宅で英語レッスンをしている。	<ul style="list-style-type: none"> ●（1日単位の介護勤務は）興味はあるが、日替わりでスタッフが変えると施設利用者さんが不安になるのでは？と心配がある。しかし、「お風呂の介助だけ」「レクリエーションの介助だけ」などの限定業務なら、利用者の不安も生まれないかもしれない。 ● 毎回違うところではなく、ある程度の期間同じ施設で働きたい。 	車が無いので、公共交通機関の「最寄り駅から〇分」などの徒歩アクセス情報が欲しい。
Tさん (女性・37歳) 保育士、幼稚園教諭、介護福祉士	2人目の子供を出産した際に預けられる保育園が見つからず、正職員を辞めるか迫られた。自宅近くで働ける保育士のパートを選び、介護職から離れた。	<ul style="list-style-type: none"> ● 現場は助かる。働く側でも助かる。 ● 実際に介護に戻る時は、このアプリを利用して働いてみて、施設の内情を知ることができるので、安心できると思う。 ● 入浴介助は難しいが、限定業務なら、働きやすいかもしれない。 ● 正社員勤務を望んでいない人なら、使いやすいと思う。 	日雇いだと、現場に迷惑がかかるという不安がある。現場の申し送りなど、現場の状況が分かれば使いやすい。
Iさん (男性・29歳) 初任者研修修了者	12名規模の有料老人ホームで正社員として勤務していたが、給与面で退職し、現在は介護業界で働いていない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 関心はある。副業として夜勤などで働く機会が得られれば、有益だと思う。 ● 選ぶポイントは、自宅からの近さと給与。 	夜勤の情報が欲しい。自分が副業で介護業務に就くなら、夜勤の仕事が多いと助かる。

介護事業者 (11月20日実施)	現在の人材確保方法と課題	要望・意見など
札幌市、S社 事務長	<ul style="list-style-type: none"> ● ハローワーク、成功報酬型求人媒体、たまに紹介業者を利用している。 ● 事業所3ヵ所の合計で、年間500万円の経費をかけている。 ● スタッフの定着率は良いが、高齢の方から退職していくので、常に補充が必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1日働いて良ければ、1週間働いてもらえるか⇒1日単位での登録だが、+ボタンで同じ条件を掲載できる。 ● ワーカーごとのスキル経験の違いが出てくる。 ● 多分、常勤介護者の期待値が高くなる。ワーカーごとに仕事の指示が難しい。
札幌市、R社 管理担当者	<ul style="list-style-type: none"> ● 人材紹介、ハローワーク、Indeedの求人広告を利用している。派遣は使っていない。 ● 看護師の採用も入れて年間1,000万円以上の経費を使っている。人材紹介では、介護職1名につき100万円程度の費用がかかっている。 ● 辞めていくスタッフもいるので、面接負担や金額負担が大きい。離職も多く、採用費用の効率が悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人手不足をカバーするパートなどは手配が大変なので、個人的には利用に賛成。 ● 資料をいただき、社内で検討する。 ● 登録ワーカー側としては、派遣登録しなくて良いのは便利だと思う。 ● 人材紹介の固定手数料に関して、2～3週間で辞めた場合の返還が欲しい。

3. 実証内容 3-4. 参画自治体との連絡会議

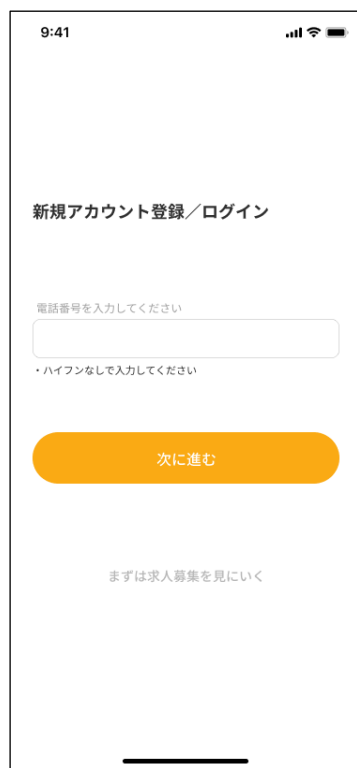
- 参画自治体の札幌市（代表）、岩見沢市、富良野市とコンソーシアムメンバーで、下記2回の連絡会議を開催した。
 ＜介護特化型マッチングアプリ＞の説明を行うと共に、本事業で開発する＜介護オープンポータルサイト＞に関する要望等を伺った。

実施日時	会場	出席者	会議内容	
2024年1月31日 （水） 14：00～15：30	小樽商科大学サテライトオフィス会議室 （ZOOMとのハイブリット会議）	＜参画自治体＞ <ul style="list-style-type: none"> ・札幌市保健福祉局高齢保健福祉部介護保険課 小林 義明 係長 ・岩見沢市役所健康保険部 佐藤 雅之 ＜コンソーシアムメンバー＞ <ul style="list-style-type: none"> ・（株）さくらコミュニティーサービス 中元 秀昭 代表取締役、西岡 絵梨 ・小樽商科大学大学院商学研究科 猪口 純路 教授、藤原 健祐 准教授 ・北海道放送（株）コンテンツ制作センター 情報制作部 藤枝 孝文 局長 ・（一社）城西コンサルタントグループ 滝沢 悟 副会長、松嶋 葉子 	① 代表企業ごあいさつ ② 北海道デジタルチャレンジ事業について（事業の概要、事業スケジュールについて） ③ 事業スケジュールの進捗（TV広告によるプロモーション、＜介護特化型マッチングアプリ＞＜介護オープンポータルサイト＞の開発状況について） ④ 事業の効果（集客目標、北海道との連携、参画自治体への協力をお願い） ⑤ 意見交換 ＜検討事項＞ ＜介護オープンポータルサイト＞の掲載内容に関して、道庁と調整しながら進める。	
2024年2月21日 （水） 13：30～14：30	ZOOMによるオンライン会議	＜参画自治体＞ <ul style="list-style-type: none"> ・富良野市 総務部 スマートシティ戦略室 西野 成紀 室長、他5名 ＜コンソーシアムメンバー＞ <ul style="list-style-type: none"> ・（株）さくらコミュニティーサービス 中元 秀昭 代表取締役、西岡 絵梨、椿 淳平 	① 代表企業ごあいさつ ② 北海道デジタルチャレンジ事業について（事業の概要、事業スケジュールについて） ③ 事業スケジュールの進捗（TV広告によるプロモーション、＜介護特化型マッチングアプリ＞＜介護オープンポータルサイト＞の開発状況について） ④ 事業の効果（集客目標、北海道との連携、参画自治体への協力をお願い） ⑤ 意見交換	

3. 実証内容 3-5. 介護特化型マッチングアプリ開発①

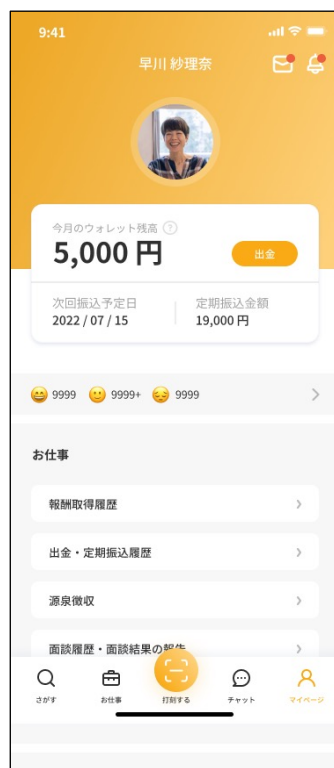
- 本事業では、既に開発済みであった＜介護特化型マッチングアプリ＞ベータ版に、スカウト機能や相互レビューの機能を付け加え、リリース版に完成させ、2024年1月22日（火）より公開した。公開後は、働きたい人（ワーカー）と介護事業者の登録を受け付け、両者のマッチングも行った。

①ワーカー向け画面（登録～仕事検索～応募）



ユーザー登録画面

利用を希望するワーカーは、SMS認証でユーザー登録を行う。
(iOS/Android対応)



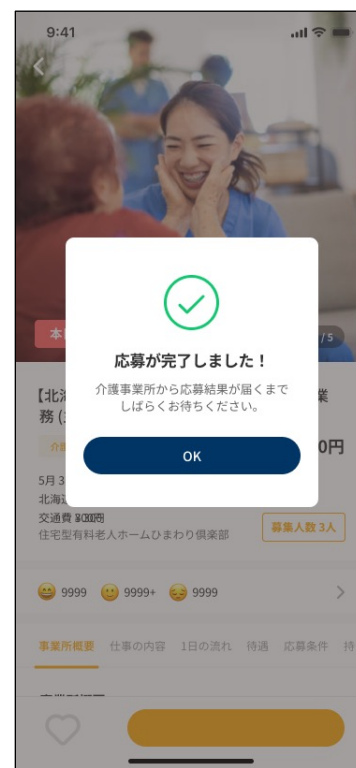
マイページ画面

基本設定やワーカーのプロフィールの登録、働いた給金が振り込まれるウォレット残高の確認ができる。



求人検索画面

介護事業所の求人情報が掲載され、場所や日程、日給、仕事内容など条件に合った求人が探せる。

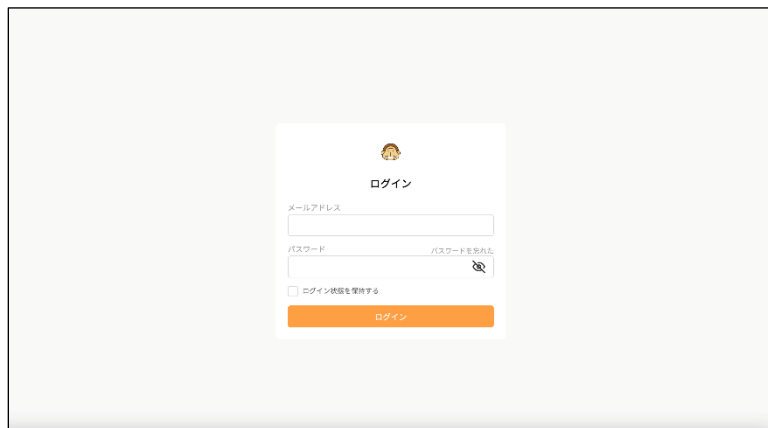


応募完了画面

興味がある求人情報にワンタップで応募が可能。

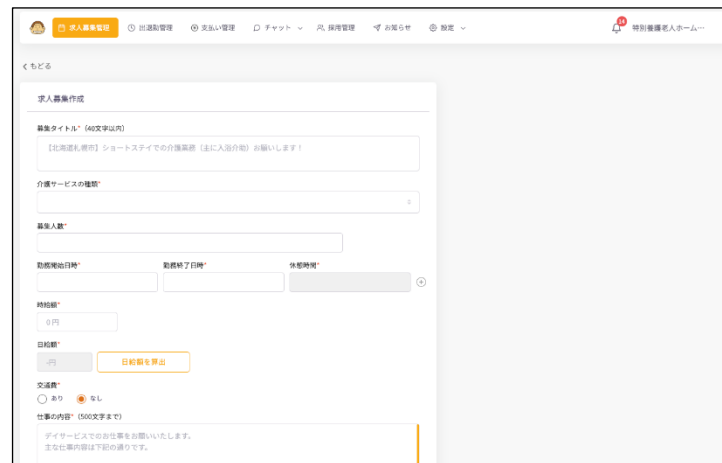
3. 実証内容 3-5. 介護特化型マッチングアプリ開発②

②介護事業者用編集画面



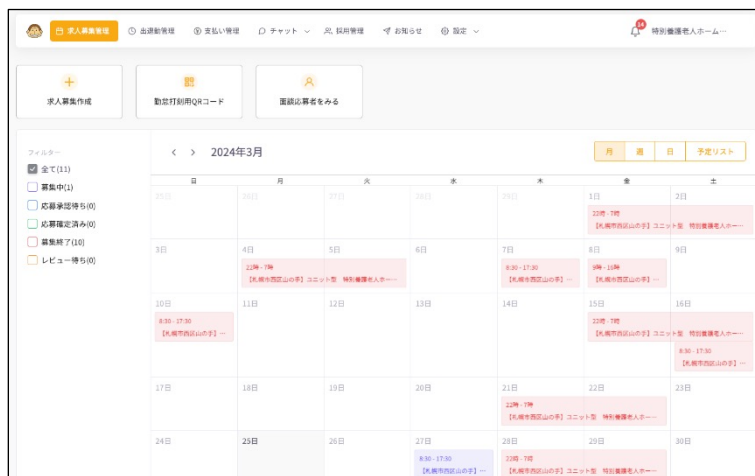
介護事業書管理画面

メールアドレスと個別パスワードでログインする。




求人情報作成画面

一日単位で募集する求人情報を作成する画面。
募集する日・時間や業務内容、
日給・時給を設定できる。



カレンダー画面

募集している求人内容を一覧で確認することができる。
同じ画面で、各求人の応募状況を把握できる。



NO.	スカウト対象ワーカー	住所	勤務可能日時	希望内職係	希望日給額
01.	SCOUT_USER	dhdhd	2024年03月15日 12:00 - 22:00	ヘルパー1級	1500 - 7000円
02.	SCOUT_TEST_NEW_USER	cmnd	2024年03月20日 16:44 - 16:44	ヘルパー2級 ヘルパー1級	2000 - 5000円
03.	Scout_test_user_dxcj	xhfb	2024年03月06日 18:39 - 19:30	ヘルパー1級	1500 - 12000円
04.	XXXXX_USER	Kochi	2024年02月27日 23:00 - 00:00 2024年02月28日 00:15 - 01:15 2024年02月28日 01:30 - 02:30 2024年02月28日 01:30 - 02:30	ヘルパー1級 介護福祉士	-
05.	ZERA_MJ	東京都	2024年02月02日 02:00 - 18:00 2024年03月20日 10:00 - 22:00	初任者研修 実務者研修 ヘルパー1級 介護福祉士	1000 - 3500円
06.	Yamashita_K	Kochi	2024年03月05日 09:00 - 18:00 2024年03月06日 10:30 - 20:30 2024年03月07日 09:00 - 18:30 2024年03月08日 11:30 - 22:30	看護師	1000 - 12000円

スカウト画面

登録ワーカーの資格や経験などの状況を確認し、スカウトを送ることができる機能を搭載している。

3. 実証内容 3-6. 介護ポータルサイト開発①

- 本事業では、介護ポータルサイトの構築も行った。各自治体は、地域の福祉施策や移住・ワーケーション情報などを掲載できる。また、本事業の調査で得た介護人材の調査情報の閲覧により、地域内の介護人材状況の実態の把握や地域課題の分析が行える。
- ポータルサイトは、代表団体（株）さくらコミュニティサービスの社内事業として、本事業終了後も運営を継続していく計画である。今後、多くの道内自治体の参画を得て地域情報を発信し、道内の介護人材不足解消や、ワーケーションなどを希望する短期ワーカーへのPRに寄与していく。

①公開画面



TOPページ

ポータルサイトのトップページ。
サイトでは、各市区町村の介護情報、イベント情報、コラム等を見ることができる。



ポータルサイトの説明

ポータルサイトでできること、調べることが可能な情報について説明するページを用意した。北海道の介護情報を検索したり、市区町村の介護関連の情報を閲覧できる。

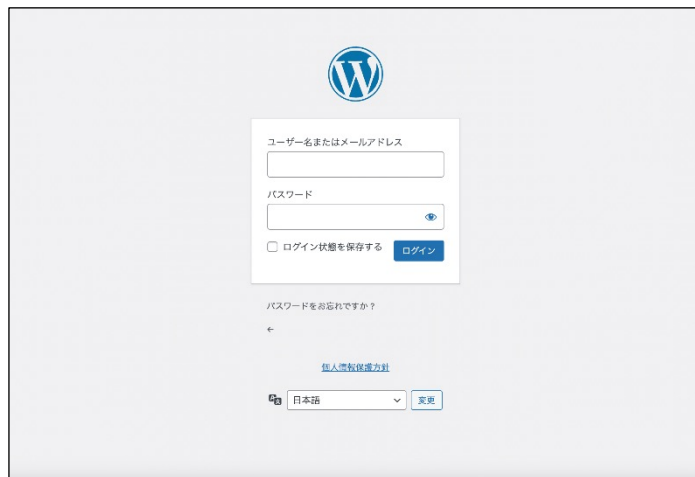


情報検索画面

各市区町村の情報を条件ごとに検索できる画面。
道内4エリアや市区町村、イベント情報などを選んで検索すると、地域の情報などが表示される。

3. 実証内容 3-6. 介護ポータルサイト開発②

②自治体の編集画面



ログインページ

各自治体ごとに発行したIDパスワードで、管理画面にログインする。

新着情報の入力（編集）

HTMLなどを知らない自治体担当者でも簡単に情報が掲載できる機能を搭載。（コンテンツ・マネジメント・システム）
「イベント情報」「各市区町村からのお知らせ」「コラム」の種類を選んで、詳細情報を入力できる。
また、自由にカテゴリーを追加する機能もある。

入力情報の公開・情報の更新

入力した記事装飾は自動的にポータルサイト画面に反映され、地域の介護情報興味を持つ人など一般の人も閲覧が可能となる。また、情報の更新も入力（編集）画面で行える。

3. 実証内容 3-7. 広報・プロモーション①（ワーカー登録促進）

①TVコマーシャル

- コンソーシアムメンバーである北海道放送の枠を活用して、1月22日～2月29日まで15秒のTVコマーシャル、ラジオコマーシャルを放映し、実証事業の周知を図ると共に、働きたい人（ワーカー）の＜介護特化型マッチングアプリ＞への登録を促した、

実施期間	放映エリア	放映回数
2024年1月22日（月） ～2月29日（木）	北海道全域 青森県・岩手県北部（ラジオコマーシャルのみ）	TVコマーシャル：100回 ラジオコマーシャル：10回



②ネット広告

- コンソーシアムメンバーのソウルダウト（株）により、InstagramやApple・GoogleのPlay Storeにネット広告を掲載した

実施期間	広告を掲載したメディア
2023年11月13日（月） ～3月15日（木）	Instagram Apple・GoogleのPlay Store



③介護研修修了生22,000人への登録促進

- 代表団体（株）さくらコミュニティサービスが運営する介護士養成校の卒業生に対し、介護士養成校の公式LINEを使い、＜介護特化型マッチングアプリ＞の告知を行い、登録を促した。

実施期間	方法	回数
2024年1月23日（火） ～2月29日（木）	介護士養成校の公式LINEでの告知	5回

3. 実証内容 3-7. 広報・プロモーション②（介護事業者の登録促進・広報）

①コールセンターを活用した介護事業者への営業

- 1月22日の＜介護特化型マッチングアプリ＞のリリースを前に、コンソーシアムメンバーの（株）Cellmyのコールセンター機能を活用し、道内の介護事業者に対して電話での案内を行うと共に、ZOOMを活用して事業者登録の営業活動を実施した。
- （株）Cellmyでは、介護事業者からの問い合わせ対応や登録に関するカスタマーサポート業務も担った。

実施期間	営業対象
2024年12月15日（月） ～3月15日（金）	北海道エリアの介護事業者2500ヵ所

②（株）さくらコミュニティサービスの業界ネットワークを活用した周知活動

- 代表団体の（株）さくらコミュニティサービスがネットワークを持つ介護事業者に対し、直接の案内を行うと共に、同社代表が北海道支部・副支部長を務める「介護事業者連盟」において、本事業の紹介や介護事業者への登録のお願いを行った。
- その結果、コールセンターによる営業活動と相まって、多くの介護事業者に対する周知活動を行うことが出来た。

③参画自治体による広報

- 連絡会議を通じ参画自治体に協力をお願いした結果、下記の広報協力を得られることになった。

自治体	広報の協力内容
札幌市	① 3月中旬に、札幌市のHPに＜介護特化型マッチングアプリ＞の案内記事を掲載していただいた。（下図） ② 3月中に、札幌市に登録している介護事業者に対し、メールで＜介護特化型マッチングアプリ＞の案内をしていただく予定である。
富良野市	令和6年度4月より始まる次年度において、富良野市が発行する広報誌と市のHPにて、＜介護特化型マッチングアプリ＞の記事を掲載していただく予定となっている。



4. 実証結果 4-1.目標の達成度

①当年度の目標指標の結果

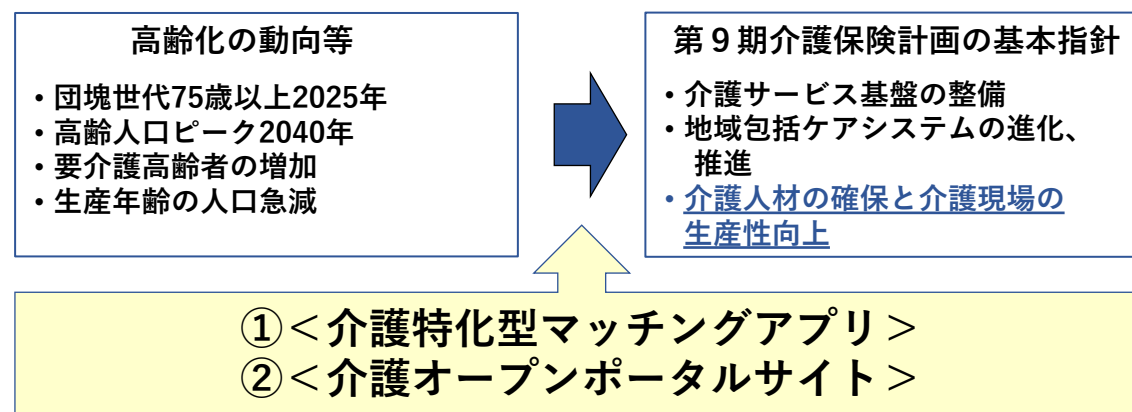
- 2024年3月15日までの補助事業期間中に、計画時に立てた各目標指標(A指標、B指標、C指標)を超える実績が得られた。
- 特に、働く人（ワーカー）のが目標を大幅に超える登録数を獲得できたのは、事業で行ったTVコマーシャルやネット広告、有資格者に対するメール周知が効果を発揮した面もあるが、スキマ時間を活用して介護の仕事をしたいという潜在ニーズが多くある事の証左と言える。

指標	目標	実績
A. 介護特化型マッチングアプリへの目標登録数 介護事業者数	65事業所	72事業所
B. 介護特化型マッチングアプリへの目標登録数 働く人（ワーカー）	150人	639人
C. 補助事業期間中の目標マッチング成立人数	30人	67人

②最終的な目標へのアプローチ結果

- 本補助事業終了後の最終的目標は、ビジネスフィールドで＜介護特化型マッチングアプリ＞と＜介護オープンポータルサイト＞を継続的に運用し、『2024年問題、介護人材不足69万人』の国家的な課題解消への貢献である。
- 潜在介護士等へのニーズ調査結果から見るとは、先に述べた各種広報によるプロモーションの効果やアプリの機能改善と相まって、今回の補助事業への関心は極めて高く、国家的な課題「介護人材不足解消」という最終的な目標に向けた本事業の有用性が確認できたと言える。
- 第9期介護保険事業計画の基本指針にあるように、『介護人材の確保と介護現場の生産性向上』の重点課題解決に対して、本事業の継続的な推進は、地域課題の解消につながると考えられる。

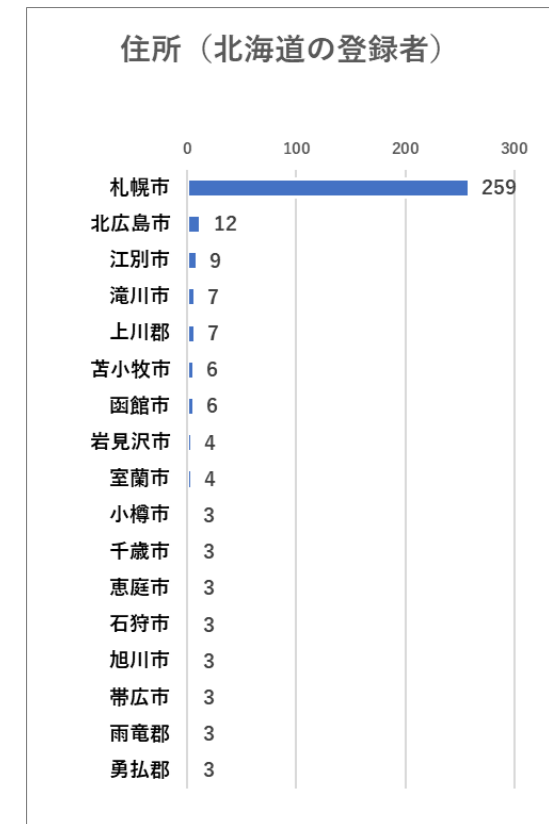
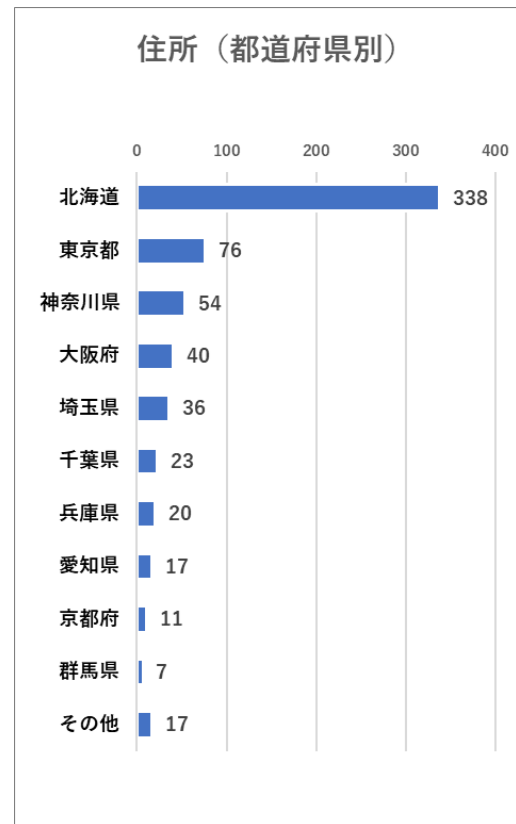
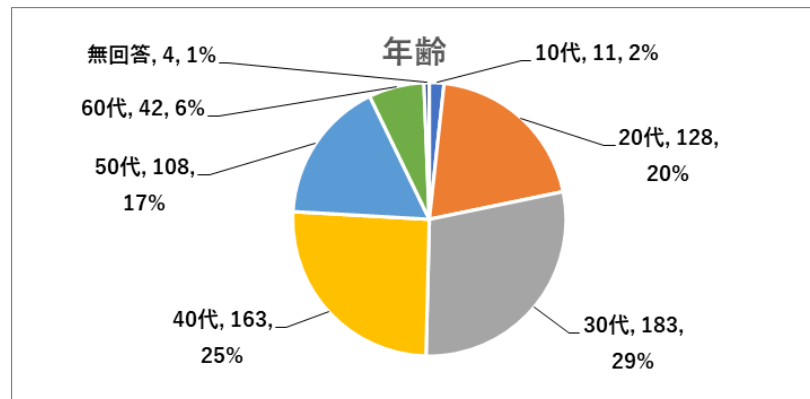
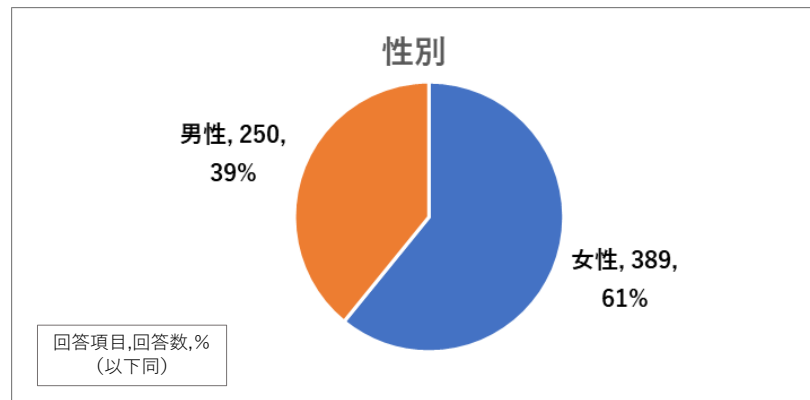
第9期介護保険事業計画の基本指針との関係



4. 実証結果 4-2.登録ワーカーの分析①

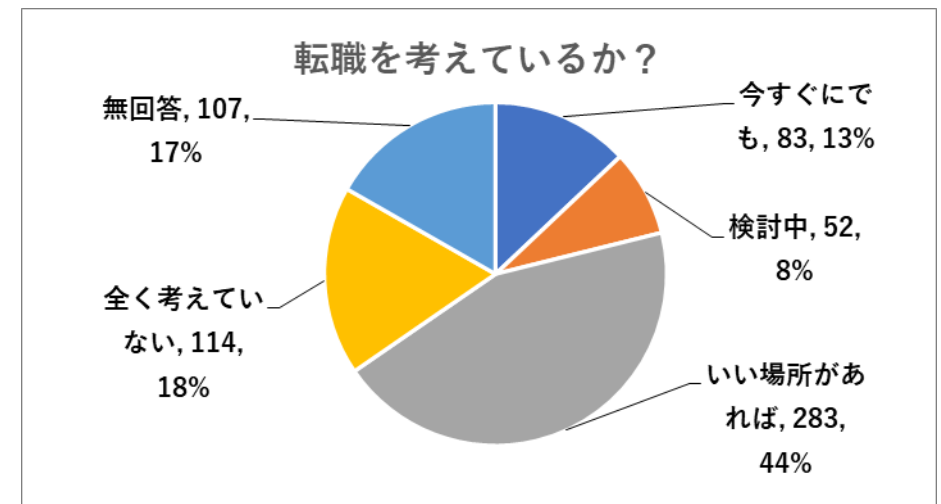
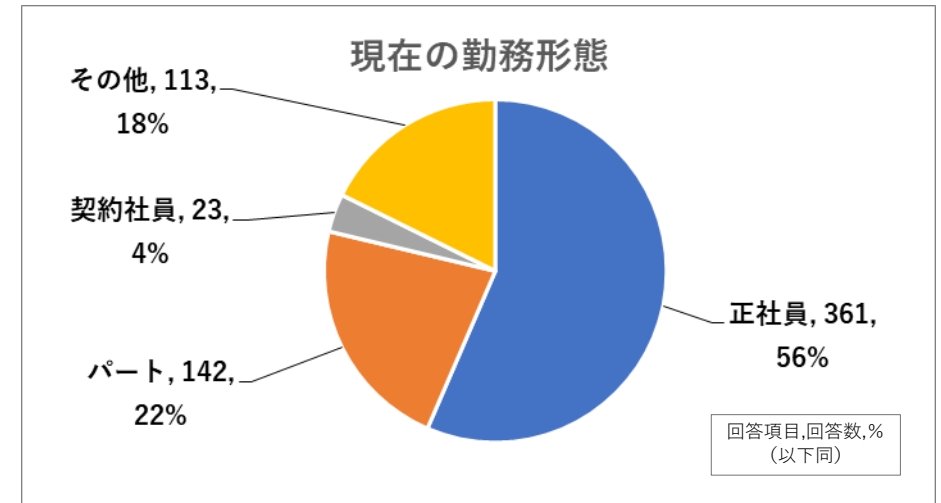
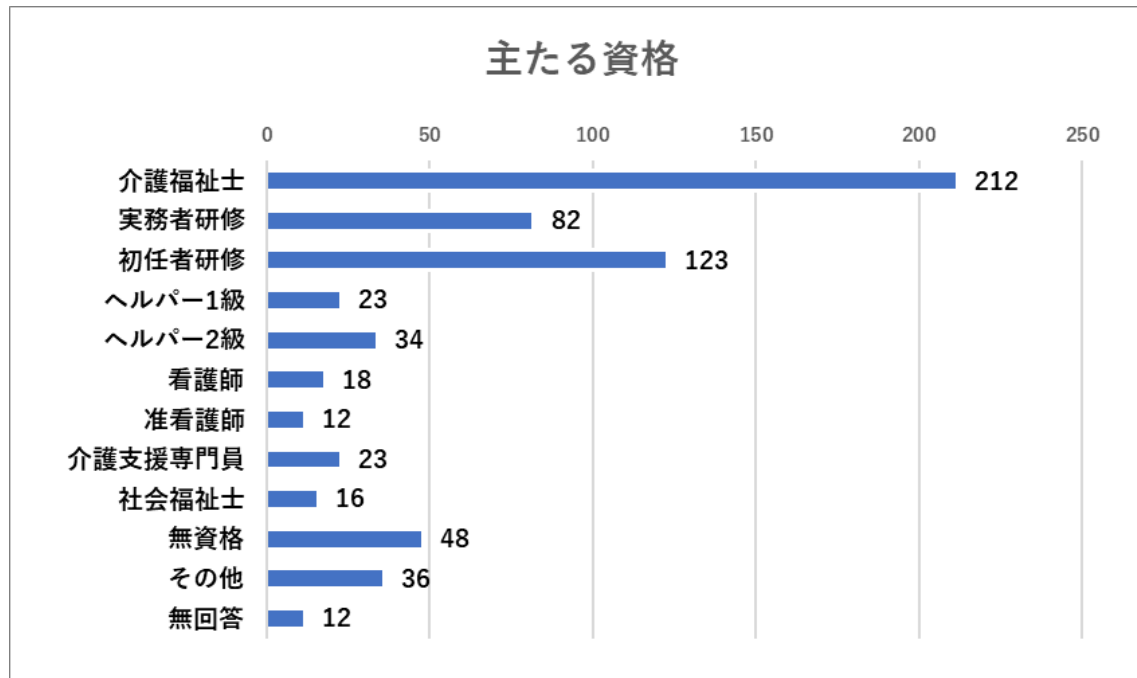
登録した人（ワーカー）の属性分析

- 実証期間中に＜介護特化型マッチングアプリ＞に登録した働く人（ワーカー）639人の属性を分析した結果が以下である。これらの情報は、＜介護オープンポータルサイト＞にも反映され、各参画自治体における潜在的な介護従事者の把握などに活用していただく予定である。
- 介護研修修了生22,000人に対しても登録プロモーションを行ったため、北海道以外の16都府県在住のワーカーも登録している。北海道在住者は338人（全登録者の53%）で、札幌市が他を引き離して最多（北海道の77%）であった。その他はの地域の登録者は少ないが、今回の実証中は、求人情報やネット広告配信エリアが札幌中心だったためとも考えられる。年齢別では30代が29%と最多だが、20～50代でまんべんなく登録されている。



4. 実証結果 4-2.登録ワーカーの分析②

- 登録ワーカー639人の主たる資格では、「介護福祉士」が212人と最多である。「無資格」「その他」「無回答」を合わせた96人以外の543人（全体の85%）は介護関連の有資格者である。
- 現在の勤務形態は、「正社員」が56%と過半数を占めている。「パート」「契約社員」を合わせて82%が何らかの勤務をされている。
- これらに加えて、転職希望に関して「今すぐにでも」「検討中」「いい場所があれば」合わせて65%と高い数値を示していることから、本事業で進めた＜介護マッチングアプリ＞は、介護関連職の方のニーズに沿う事業であると言える。



5. 実証事業の評価と今後の課題

① 実証事業の評価

- 本実証事業は比較的短い実証期間であったが、事前準備による地域課題の明確化と有効なアプリ機能の検討を実施のうえ、実証調査設計を行ったことにより、計画通りに実証調査を実施し目標指標を達成することができた。
- <介護特化型マッチングアプリ>の実用化により、本実証事業のテーマ『介護人材不足の解消による地域課題の解決』を推進する道筋の見通しを得ることができたと考えている。
- これにより、介護事業者の収益向上や、潜在介護士をはじめとする介護にかかわる新たな人材の雇用創出が図れ、他地域からの労働力の流入（移住等）や未就労（潜在介護士、主婦等）人材の働き先が創出され、地域の雇用拡大と経済効果が期待できる。また、自治体における介護サービス計画達成の一助を担い、地域の介護サービスの維持向上やサービスの安定供給への貢献が図れると考えている。
- <介護オープンポータルサイト>を同時活用することで、ワーケーション等の新しい介護の働き方や地域の魅力の発信を行い、地域経済の好循環に貢献が期待できる。

評価

- ① <介護特化型マッチングアプリ>の実用化により『介護人材不足の解消による地域課題の解決』を推進できる道筋を確認
- ② <介護オープンポータルサイト>も同時活用することで、新しい介護の働き方や地域の魅力の発信の足掛りを構築

② 今後の課題

- <介護特化型マッチングアプリ>の事業化と広域への展開
→今回開発したアプリについては、利用していただくワーカー及び介護事業者の方々に一定の評価をしてもらった。一方では改善意見等もいただいており、更に機能改善により顧客満足度を高めることが必要である。
→本ビジネスモデルはワーカー及び介護事業者の登録数が多くなればなるほど有効性が向上するため、まずは北海道全域への展開、そして青森県など本州北部から全国展開を図る必要がある。
- 自治体と連携した<介護オープンポータルサイト>活用の促進
→ワーケーションの情報発信などで地域の移住・定住を促し、地域活性化を図る継続的な活動が求められる。本事業終了後も、コンソーシアムの独自事業により、<介護オープンポータルサイト>を運用していくことを計画している。



今後の課題

- ① <介護特化型マッチングアプリ>の事業化と広域への展開
- ② <介護オープンポータルサイト>の活用の促進